

ウエディングプランナーになるには・・・

近年非常に人気がある『ブライダル関係』のお仕事。東商生に限らず、他校生も『ブライダル関係』の専門学校への進学希望者が多いそうです。希望するのはいいのですが、この業界、この仕事、そしてこの専門学校の現実を理解して希望しているのかがとても心配です。**東商のOGで、専門学校に行ってプランナー（コーディネーター）になったという人を聞いたことがないので余計に心配です。**少し調べてみた方がいいでしょうね。

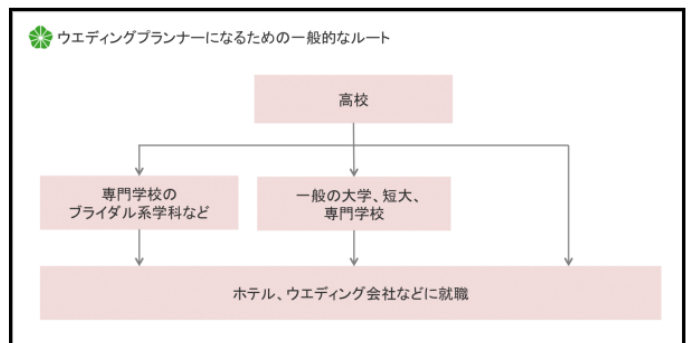
ウエディングプランナーは、働く際に必要となる資格や学歴はとくにありません。そのため、専門学校やスクールに必ず通わなくてはならないというわけでもありません。

①大学で学ぶ

大学によっては、ブライダルの基礎を学ぶことができる学科も用意されています。ブライダルの知識のみならず、一般教養まで広く学ぶことができます。

②専門学校で学ぶ

ブライダル系の専門学校は、ブライダル業界で働くことを前提としたカリキュラムとなるため、より実践に即した勉強ができます。卒業後はホテルやブライダル会社へ就職し（**実際には、ここがうまくいかないみたいです**）、プランナーを目指すといった流れが一般的になっています。



③養成スクールで学ぶ

ウエディングプランナー養成スクールの場合は、すでに社会人（ホテルマンなど）として働く方を対象にしているケースが多く、即戦力をつけるための短期集中型の内容になっています。

④ホテルやブライダルコーディネート会社で働く

現在、ウエディングプランナーとして活躍する人全員が、上記に挙げたような学校を出ているわけではありません。ウエディング業界はしきたりやルールが多いため、まずは**ウエディング（あるいはホテルなど）業界に入ってアルバイトで働いたり、プランナー以外の業務をしたりすることによって、現場に慣れていきながらスキルアップする人も多くいます。**



ウエディングプランナーは経験が必要

ウエディングプランナーは経験が必要とされる仕事です。そのため、ホテルや結婚式場等に就職したとしても、すぐにプランナーとして働くことは難しいようです。

ホテルなどでは、ウエディング以外の他の部署で何年か経験を積み、異動の希望が通ることで、ようやくウエディングプランナーの仕事に就けるといった流れが一般的となっています。

よく考えてみればわかることですが、**お客様にとって一生に一度のイベントで、その費用が300万円～500万円もかかるのですから、専門学校を出たての素人に任せられるはずがないのです。**失敗したり、クレームが大量に発生したりしたら、会社の経営を左右しかねませんから。

ウエディングプランナーの現状と今後の見通し

結婚式場業の売上高は年々減少してきています。2014年度は1468億円と、ここ10年で最も低い売上高となっています。また、結婚式業の取り扱い件数も2006年より減少を続けています。2014年度の取り扱い件数は48,659件となっています。

結婚式場業の従業員数も減少傾向にありましたが、2014年時点で16,854人となり、2014年は前年よりも若干増加しました。**従業員に占める正社員の比率は減少傾向**にありましたが、ここ数年は横ばいとなっています。**2014年の正社員比率は38.9%**となりました。(webサイト: キャリアガーデンのデータより抜粋)

ウエディングプランナーの退職・離職率

○「人気の仕事！」でも、辞める人も少なくない

ウエディングプランナーは、人気が高い職業です。学生のうちから「ブライダル業界で働きたい!」と強い意志を持ち続ける人はもちろん、異業種から転職を志す人も増えているようです。

会社によっては就職の応募倍率もかなり高くなっているようですが、いざウエディングプランナーになったはいいものの、**わずか1年～3年未満で仕事を辞めてしまう人がいます。**正確な離職率は挙げられませんが、その数字は比較的高めだとされています。

○辞める人はどんな人?

他の仕事と同様、結婚・出産など人生の転機を機に辞める人もいますが、そういった理由とは別で比較的多く見受けられる離職理由としては、「**イメージしていた仕事とは違った**」というものです。

ブライダル業界のど真ん中で活躍するウエディングプランナーには、「華やかで、人を幸せにする美しい仕事」というイメージが強く根付いているようです。もちろん、そういった面も大きいのですが、**実際の業務はただ楽しいことや、キレイなことだけではありません。**

まず、会社によっては売上ノルマがあり、できるだけ多くの売上を上げるように言われます。ただ数字だけ追えばいいわけではありませんが、確かな営業成績を上げることも、ウエディングプランナーとしての評価の一部になるのです。

また、たくさんの式の予定がある時期は、眠い目をこすって毎日深夜まで事務作業をこなし、1日に複数の結婚式をこなし、準備・片付けなどを含めて早朝から半日以上ずっと動きっぱなしということもあります。

さらに、人と人が深く関わり合う仕事なだけに、お客さまからクレームを受けたり、お叱りの言葉をもらったりすることもあります。もちろん、ウエディングプランナーはそんなことが起こらぬよう細心の注意を払って準備を重ねていくのですが、いくらがんばっても、ときにはお客さまと考えの相違が起こってしまうこともあるのです。

○楽しさを感じるまでには時間がかかる

いざ仕事を始めれば、体力面と精神面、どちらをとっても大変だと感じることはあるでしょう。**どんな仕事でもそうですが、仕事の楽しさ・やりがいを感じられるようになるまでにはたくさんの努力が必要ですし、相応の時間がかかるものです。**

せっかくの喜びを味わう前に現場を去ることにならないためにも、憧れだけではなく、仕事の大変さや厳しさについても知っておき、覚悟を持ったうえでこの業界に飛び込みたいものです。